

竹馬会情報紙

ホームページアドレス
http://chikubakai.com

はずみ

CHIKUBAKAI



竹馬会キャラクター
なべムシ君

大河ドラマ「軍師官兵衛」スタート



1月5日(日)いよいよ大河ドラマ「軍師官兵衛」の放送が始まりました。第1回の放送を市民みんなで見ようというイベントが日ノ出町商店街で開催され、竹馬会もはずみ鍋で500人分の豚汁を配って会場を盛り上げました。

お宮と金色温泉に門松設置



12月22日(日)今年もお宮と金色温泉に門松を設置しました。撤去は年明けの1月12日(日)に行いました。

暖かい初詣でした



今年の初詣は暖かったのですが、お参りはする人はパラパラでした。もう少しお参りしてもらいたいですね。

今後の予定

■三光一周駅伝大会

- 1月25日(土) 19時30分 野菜切り
- 1月26日(日) 9時00分 佐知庵集合

■新年会

- 1月26日(日) 17時30分 佐知庵集合
- ※今年最初の懇親会を新年会で行います。

■どんど焼き

- 2月 2日(日) 8時30分 川野宅倉庫集合 組立て
- 2月 8日(土) 9時00分 佐知庵集合 餅つき
- 2月 8日(土) 16時30分 現地集合 祝詞・火入れ
- 2月 9日(日) 9時00分 現地集合 後片付け

大分合同新聞「追跡2013」竹馬会で締めくり!

追跡 2013

集落を守る機運醸成

「1年たつのは早えのう」「あと何年、こうやってできるかのう」...12月中旬の土曜日、中津市三光佐知の地域おこしグループ「竹馬会」の集会所に、50代以上の男女約30人が集まった。近くの温泉施設からの注文で、イベントで配る餅をつくためだ。

男女で作業を分担し、手際よく20分のもち米をつきあげた。「そろそろ、お茶にするかえ」の声を合図に、餅の一部を酢じょうゆやきな粉で味付けし、頬張った。「こうやってたき火に当た

「泥田バレー」25年で幕



温泉施設から注文された餅をつく作業の合間に、つきたての餅を食べながら談笑する竹馬会のメンバー=14日、中津市三光佐知

竹馬会「活動これからも」

りながら、ワイワイやるの。竹馬会は今年、高齢化が理由に25年続いた泥田バレーボール大会の幕を閉じ、た。しかし、年末年始も門控えている。

竹馬会は1987年、佐知地区の有志(約200名)で結成した。泥田バレーの他にも、直径2.5mの大鍋「千人鍋」を活用して各種イベントに出張。最近では東日本大震災からの復興を後押しする「福島里親プロジェクト」にも参加している。初代会長の川野公人さん(79)は「草刈りやいろんなことに力を合わせ、集落を皆で守ろうという機運ができた」と胸を張る。

若手の参加が減る竹馬会のような地域づくりグループは80年代以降、

県内各地に誕生したが、高齢化に伴い活動が停滞するケースも増えてきた。竹馬会の佐知地区も高齢化率こそ30%台とそれほど深刻ではないが、若手の参加が減っているという。「泥田バレーが近づくと、打ち合わせと称して毎晩のように飲んでたが...世代間のコミュニケーションが減ると寂しくなる」と佐賀一彦会長(57)。

それでも、メンバーたちに気落ちした様子はない。「若い人たちは仕事や子育てなどに忙しく、無理は言えない。彼らに余裕ができるまではわしらが頑張る」と川野さん。相良卓紀事務局長(57)は「地域が続く限り、会の活動に終わりはない。高齢化の中でも何ができるのか、模索していきたい」と前を向いた。



泥田バレーボール 田植え前の田んぼで、泥田バレーボールを遊ぶイベント。全国で同様の大会が開かれる先駆けとなった。仮装する選手、パーベキューで盛り上がる応援団などが集まらだけになりながらボールを追うイベント。全国で同様の大会が開かれる先

平成25年12月29日付の大分合同新聞「追跡2013」、10回連載の9回目は、竹馬会のこれからの活動でした。大分県の2013年を振り返る10件のうちの1つに竹馬会が取り上げられ、泥田バレー25年の歴史に幕を閉じるに相応し記事でした。